
令和 6 年 度

事業報告書

社会福祉法人育美会
むさしの保育園

令和6年度事業報告

全ての利用者を大切に、それぞれ必要に応じた適切な支援が出来るよう、職員で連携を心がけた。法人職員とも連携を密にし、保育園同士では必要な部分に関して望ましいマニュアル作りを継続した。

1. 家庭との連携

少子化や地域の希薄な環境、自然破壊環境、不審者等の不安など、家庭で抱えている問題が多く、安心して子育てしにくい状況になっている為家庭との連絡を密にし、一緒に寄り添えるようにした。そのために園児の家庭での様子を聴いたり、園での様子を伝えるため、お便り、連絡帳、掲示物、個人面談等さまざまな工夫を行った。

問題を伴う相談に関して、慎重に速やかに解決できるよう最善な方法を取るようにした。

前年度に続き、家庭状況、発達に不安を抱えて特別な配慮が必要な家庭に対し寄り添うとともに、小学校との連携も密にし、少しでも不安を少なくする手立てを講じた。

2. 保育について

毎日の保育では、発達の違いを考慮しつつ、無理のないよう基本の生活習慣を身につけたり、むさしの保育園の恵まれた園内外の環境を生かしてたくさん遊びこめるようにした。

全職員が発達障害をもつこどもの保育を実体験しつつ協力し、問題の解決に努めた。

行事は、子どもたちが友だちと一緒に主体的に取り組み、達成感を味わい、積み重ねによる充実感を感じられるよう工夫した。

食に関して、安全で美味しいものを提供できるようにし、睡眠も良い環境で保障するようにした。

今年度は親子遠足、夜祭、運動会を全園児とその家族が参加し実施することができた。

どの行事も参加率がよく家族間の交流の機会を求められていることが感じられた。

久々の実施で職員は計画段階から戸惑い苦戦したが内容を刷新することもできた。

三施設の交流事業として川越南文化会館でマリンバコンサートを実施した。3～5オクラスがバスに乗って移動し音楽を花の人の家の入居者や貴精保育園の園児と一緒に楽しむことができた。当日の天候への対応など今後の検討課題が見つかった。

3. 健康、安全管理について

食物アレルギーの対応を必要とする園児は今年度も在籍していた。

受診時の様子やアレルギー反応のテストの結果等を職員間で共有しつつ引き続き安全を第一に尚且つ楽しい食事を心掛けた。

自然の中で充分遊ぶことにより、健康な身体作りを心がけた。日々の視診、身体測定、健診などを通して異常や伝染病の早期発見、早期対策がとれるようにした。

園内外の安全体制の確認を行い、職員間、保護者間の協力体制をつくり、園児の安全を守るように努めた。又、子どもたち自身も安全に対する学習がしていけるように心がけた。

4. 併用事業

一時保育は年間でのべ486人を受け入れ各年令のクラスと一緒に楽しく生活できるようにした。

支援事業(つどいの広場)は、おもちゃの消毒、室内清掃を徹底しつつ、人数制限を設けないで利用者を受け入れた。

近隣への散歩やわらべうた講座、季節の制作、和太鼓講座など講座を工夫し実施した。

お店屋さんごっこ、荒馬座公演、節分など保育園の行事に親子が参加することもできた。

今年度も子育て相談の内容によっては、リフレッシュのための一時保育の受け入れにつなげることで健全な育児への援助を行った。

5. 防災管理について

緊急災害に対する対策としての避難訓練を毎月行い、時間帯、内容、方法に変化をつけて実施し指導した。防災訓練の方法を園児や職員が一斉に行うだけでなく、職員の通報訓練や避難時の状況によっては毛布などが必要になることに気づき、避難時用の毛布などを準備し安全な避難に備えた。

6. コロナウイルス感染拡大の影響

今年度も感染症に一度罹ると治癒までに時間がかかることが多く、病気欠席のない日がとても少なかった。今後も子どものからだや心の成長に影響が出るのではないだろうか。

これまでむさしの保育園では2オクラスから公共交通機関を利用し遠足を楽しんで来た。

コロナ感染拡大時は電車やバスの利用を控えていたことから経験が乏しくなってしまった。

経験の積みなおしを各クラスで今年度は丁寧に行った。

次年度以降も経験の積みなおしを課題にしたい。

7. 工事および備品購入について

- ・備品購入…園児用テーブル、イス
- ・メンテナンス…敷地外周の草刈り、エアコン修理、門柱撤去、厨房勝手口水道水漏れ修理